

# 支援する会ニュース

2022. 1. 13 NO. 64

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会  
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会  
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階  
中小労組政策ネットワーク気付  
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

## 2022年の闘いが始まった！尾澤さんに無罪を！

1月6日、今年最初となる第63回木曜行動がのべ85人の参加で取り组まれました。この日は池袋行動から雪が舞う生憎の天気でしたが、多くの人に参加していただきました。池袋行動には年末に釈放を勝ち取った尾澤さんが参加して挨拶しました。韓国では烈士の眠る墓地で旗開きをして闘いの勝利を誓ったとのこと。韓国サンケン労組では闘争基金のための物販が始まりました。名付けて「闘争靴下」です。コロナ禍ではありますが、下記の通り1・25集会が近づいています。この成功を闘い取ろう。

### 〔本社正門前〕



全統一労組の仲間の発言で行動開始。韓国からキムウニョンさんが年初の旗開きの様子を報告し、

金南柱の詩を朗読してくれました。オヘジンさんも「私達が労働組合の旗を守り切れていなかったならば、私達は人間らしく生きていくことは出来なかったと思う。また韓国サンケンの清算も早まったかもしれない。だから、私達はここで闘いを止めるわけにはいかない」と新年の闘いの決意を述べました。埼玉市民の会のアピールがあり、シュプレヒコールで行動終了。

この日は、公安が社前行動を監視していたようで、制服警官も住民の苦情を口実に様子見にやってきました。尾澤さんに出された「本社前に近づくな」という保釈条件が守られているか偵察にきたと思われます。尾澤さんに完全な自由を！

### 〔志木駅南口前〕

この日もゆいの会の似顔絵パネルが駅頭を埋めました。旭ダイヤモンド工業の争議当該の発言でスタート。韓国からペクウンジュさんが「ある時には頑張ろうと思ひ、ある時には落ち込んでしまう。そのように行ったり来たりしている気持ちだが、はっきりしていることは一つ。それはサンケン電気に対する怒りだ。韓国サンケンが精算されたのが会社の累積赤字でないことは、誰よりもサンケン電気がよく知っている。この労働組合が出来てからずっと、

サンケン電気は私達労働組合を弾圧し続けてきた。そのような結果として会社を丸



ごと潰して、労働組合をなくしてしまう。このようなサンケン電気のやり方が今あらわになってきている。サンケン電気は恥ずかしくないのか…。社会的責任を果たす企業として、そして人を大切にする企業として、生まれ変わることを望んでいる」と発言。イヘミンさんも「私は21歳の時に韓国サンケンに入社した。そして、結婚し、子どもを産み育て、今も韓国サンケンの労働組合で活動している。現在コロナで世界中が苦しんでおり、企業もまた厳しい状況にあると思う。でもサンケン電気は現在韓国での事業展開において200億円の売り上げがあり、企業活動をさらに続けている」と批判しました。韓国からはヤンソンモさんもアピール。サンケン太郎さんとノレの会の歌が披露されました(写真左下)。明大生協労組の発言で行動を終えました。

### 〔池袋・東京営業所前〕

渡辺共同代表、埼玉市民の会、全労働者組合、女闘労倶楽部がリレートーク。尾澤孝司さんが挨拶し、支援に対するお礼のチラシを配布しました(写真右)。韓国からキムヒョンガンさんが「人は持っている物が多いほどそれを守ろうと必死になる。でも、何も持っていない人は恐れる必要がない。私達は何もすることがないから闘うしかない。サンケン電気が私達の工場を廃業させて得る利益よりも、私達の闘争によって、失うもののほうが多いと思う」とサンケン電気に早期解決を訴えました。韓国からはキムウニョンさんもアピールしました。雪が降りしきる中、池袋にシュプレヒコールが響き渡りました。



※「逃げるな、出てこい！サンケン電気1・25集会」  
2022年1月25日(火) 18時半～  
IKE・Biz としま産業振興プラザ・多目的ホール